

事務事業名	H24に実施した事業を翌年度のH25に評価したものです。	所属部	所属課
政策名	この事業が位置づく総合計画の施策体系を表しています。	所属G	課の中の所属グループです。 課長名
施策名		担当者名	電話番号 (内線)
目的: 対象		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 項 目 中事業 中事業名
基本事業名	意図	予算上の事業名を表しています。	
目的: 対象			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間

単年度のみ 単年度繰返 (年度～)

期間限定複数年度 (年度～ 年度)

② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)

この事業がどんな事業なのか、概要を記載しています。

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動

24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)
H24年度にどんな活動をしたのかを記載しています。	H25年度はどんなことを計画しているのかを記載しています。

② 活動指標

	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア					
イ					
ウ					
エ					

左側の欄の「活動」について、どれぐらいの活動量なのかを数値化して記載しています。

(3) 事務事業の目的・指標

① 対象(誰、何を対象にしているのか)

この事業の対象は、何かを記載しています。

② 意図(対象がどのような状態になるのか)

上記の「対象」をどのような状態にしたいのかを記載しており、上記の対象とこの意図で、目的を表します。

③ 対象指標

	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア					
イ					
ウ					

左の欄の「対象」の規模がどのように変化するのかを数値化して表しています。なお、H25は推計であり、目標とするものではありません。

④ 成果指標

	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア					
イ					
ウ					

左の欄の「意図」の達成度を数値化して表しています。目標部分が、めざす数値になります。なお、把握できていない部分は空欄にしているものがあります。

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)

予算をどのように使ったのか、内訳を記載しています。

② コストの推移

	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
事業費内訳	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	地方債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円			
	事業費計(A)	千円			
人件費	正規職員従事人数	人			
	延べ業務時間	時間			
	人件費計(B)	千円			
	トータルコスト(A)+(B)	千円			

H25の計画欄は、このシート作成時点のものであり、変更になる場合があります。また、予算と連動するとは限りません。

正規職員従事人数は、この業務に関わる課内の職員数を表します。また、人件費は、平均人件費単価×延べ業務時間数で

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
この事業の状況を3つの視点で記述しています。		

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があると理由
	② 公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ 目的妥当性について、3つの視点で評価し、その理由を記載しています。	
	③ 対象・意図の妥当性 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ 理由	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 <input type="checkbox"/> 影響無 <input type="checkbox"/> 影響有	影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 有効性について、3つの視点で評価し、その理由を記載しています。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 他に手段がない	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ * ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) 理由	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 理由	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ 効率性(コスト)について、2つの視点で評価し、その理由を記載しています。 理由	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ 公平性について評価し、その理由を記載しています。	

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	この欄は、上記までの記述内容をもとに、このシートを作成した時点で、作成した各課の視点により、1次評価として評価した結果を記述しています。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的達成(意図通り) <input type="checkbox"/> 意図達成(意図通り) <input type="checkbox"/> 意図未達成(意図通り) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コスト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	コスト							×		×		×
	削減	維持	増加															
コスト																		
			×															
	×		×															
よって、評価の時点が次年度予算要求前のものであるため、予算編成の状況によっては、今後の事業の方向性は変動する場合があります。																		
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		